

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
心理学	1単位(30)	1年次 4月	外部講師	-

科目目標:人間の心・行動に関する基礎知識や人間理解の方法について学び、自己及び他者の心・行動について理解する

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	心理学とはどのような学問か	講義	外部講師
2回	感覚と知覚	講義	
3回	学習と認知	講義	
4回	身体性	講義	
5回	記憶と情報処理	講義	
6回	意識と無意識	講義	
7回	思考と言語	講義	
8回	欲求と適応	講義	
9回	パーソナリティ	講義	
10回	社会性	講義	
11回	健康と加齢	講義	
12回	生涯発達と発達理論	講義	
13回	心理学研究について	講義	
14回	まとめと議論	講義	
15回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	なし。資料を配布する。		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
論理学	1単位(30)	1年次 6月	外部講師	—

科目目標: 論理的思考を学び、情報を多角的に論理的に判断する力を養うことが出来る。

論理的な考え方、論理的な表現方法の技術を学び、論理的に思考する力、文章表現能力を養う。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	論理的思考とはどのようなものか	講義・演習 (なお、左記の計画は受講者のその都度の習熟度に応じて柔軟に変更する)	外部講師
2回	演繹推論(1) ・正しい演繹を具体例に基づいて理解する		
3回	演繹推論(2) ・演習問題を解いて理解を深める		
4回	演繹推論(3) ・演習問題を解いて理解を深める		
5回	仮説形成(1) ・仮説形成の構造を具体例に基づいて理解する		
6回	仮説形成(2) ・演習問題を解いて理解を深める		
7回	中間試験;演繹と推測(1) ・演繹と推測の区別を具体例に基づいて理解する		
8回	演繹と推測(2) ・演習問題を解いて理解を深める		
9回	論証の構造と評価(1) ・根拠と導出 ・論証構造の分析 ・論証を評価する		
10回	論証の構造と評価(2) ・演習問題を解いて理解を深める		
11回	論証の構造と評価(3) ・演習問題を解いて理解を深める		
12回	否定(1) ・否定と反対 ・「かつ」と「または」 ・「すべて」と「存在する」		
13回	否定(2) ・演習問題を解いて理解を深める		
14回	否定(3) ・演習問題を解いて理解を深める		
15回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)		
使用テキスト	野矢茂樹(著)『新版:論理トレーニング』、産業図書、2006年		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
情報科学	1単位(30)	1年次 4月	外部講師	—

科目目標： 情報科学の概念と情報処理に必要なパソコンの基礎知識・活用技術を学ぶ。

1. 医療従事者としての電子情報の取り扱い方の基本を理解できる。
2. 統計学の基礎理論と基本的な統計データの整理の仕方を理解できる。
3. パソコンを使用して情報の処理、保存、更新の実際を習得できる。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	情報科学の概論 ・ 情報の概念とその扱いをめぐる課題 ・ 情報処理に必要な知識としての統計学 ・ 情報処理に必要な技能としてのパソコンスキル	講義	外部講師
2回	ワードの基礎概念の説明および演習	講義・演習	
3回	エクセルの基礎概念の説明および演習	講義・演習	
4回	パワーポイントの基礎概念の説明および演習	講義・演習	
5回	レポート・論文の類型と書き方 (1) ・ レポート・論文の類型 ・ レポート・論文のアウトライン	講義	
6回	レポート・論文の類型と書き方 (2) ・ 資料の検索方法 ・ 資料の引用方法	講義	
7回	医療情報の電子化 ・ 経緯、在り方、論点	講義	
8回	データ解析と統計学 ・ データの概念、種類、収集方法	講義・演習	
9回	一次元データの分析 (1) ・ 度数分布表の作成 (度数、相対度数、累積相対度数)	講義・演習	
10回	一次元データの分析 (2) ・ データの中心を表す「代表値」の計算 (平均値、中央値、最頻値) ・ 外れ値、欠損値の扱い方	講義・演習	
11回	一次元データの分析 (3) ・ データの特性を表す「散布度」の計算 (範囲、四分位偏差、分散と標準偏差) ・ 表とグラフを用いたデータのまとめ方	講義・演習	
12回	二次元データの分析 ・ 2つの変数の関係 ・ 散布図、クロス表、オッズ比	講義・演習	
13回	医療情報の管理 (1) ・ 情報倫理、守秘義務、個人情報の保護	講義	
14回	医療情報の管理 (2) ・ 患者の権利と情報公開、患者の自己決定支援	講義	
15回	修了認定試験 :筆記試験 100 点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	なし。資料を配布する。		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
物理学	1単位(15)	1年次 4月	外部講師	—

科目目標：物理学の基礎を理解し、看護活動に応用する。

1. 身体ケアに関連する物理学を理解し、看護活動に応用できる。
2. 治療・処置に関連する物理学を理解する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 力学 (1) 質量と重さ、SI 単位 (2) 力の加減とボディメカニクス ①ベクトル(量) ②力のつりあい ③力の合成	講義	外部講師
2回	(3)トルクの原理と体位変換 ①身体に見られるてこ ②トルクと体位変換 (補充)慣性モーメント	講義	
3回	(4) 重心 ①重さと重心 ②人体の重心 ③重心と安定性 (5) 運動の三法則 ①慣性の法則 ②運動の法則と力の単位 N	講義	
4回	③作用・反作用の法則 (6) 圧力 ①圧力とは ②圧力の単位 $\text{kgf}/\text{cm}^2$ , Pa, atm, mmHg, $\text{cmH}_2\text{O}$ ③サイフォンの原理	講義	
5回	④血圧の知識、測定時の注意とその根拠□ ⑤酸素ボンベの原理と酸素吸入への応用 *ボイルの法則と残量計算含む	講義	
6回	2 熱(体熱の喪失とバランス) (1) 比熱、物質の状態変化と熱 (2) 熱の伝導、対流、輻射 3 光と熱 (1) 電磁波 *紫外線、赤外線、放射線	講義	
7回	(2) 光の反射と屈折 (3) 音波 *超音波 4 溶液の濃度と希釈	講義	
8回	修了認定試験:筆記試験 100 点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h)	
使用テキスト	平田雅子著 完全版ベッドサイドを科学する 看護に生かす物理学 学研		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
運動と健康	1単位(30) 体育祭含む	3年次 4月	外部講師	—

科目目標： 運動と健康の関連を理解し身体を動かすことで心身の育成を促す。

- 1 運動と健康の関連について理解できる。
- 2 各ライフステージにおいて生活の質(QOL)を向上させるための運動・スポーツについて理解できる。
- 3 スポーツ医学の概念と現況を理解できる。
- 4 人間にとってのリクレーションの意義と実技を身に付ける。

授業回数	授業計画	授業方法	講師	
1回	1 運動と健康 2 現代生活と健康と運動	講義	外部講師	
2回	3 運動と栄養			
3回	4 体力 (1)健康関連体力 (2)体力の衰え方	講義		
4回	5 各ライフステージと運動・スポーツ (1)幼児、青少年と運動とスポーツ (2)高齢者と運動・スポーツ (3)障害者と運動・スポーツ	講義		
5回	6 運動の生理 (1)運動の中樞神経 (2)運動の末梢性調整 (3)運動と筋肉系・循環系・エネルギー代謝	講義		
6回	7 トレーニング理論	講義		
7回	8 運動と心理 9 運動と疲労	講義		
8回	10 スポーツ医学	講義		
9回	11 レクリエーションの基礎的理解	講義		
10回	12 レクリエーション実践の展開①	実技		
11回	13 レクリエーション実践の展開②	実技		
12-14回	体育祭 参加(6時間)	実技		
15回	修了認定試験:筆記・実技試験 80 点、レポート 20 点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)		
使用テキスト	健康・スポーツ科学講座 杏林書院			

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
社会学	1単位(30)	1年次4月	外部講師	—

科目目標: 1 社会的存在としての人間を理解するとともに、多様な社会関係の中での物の見方・考え方を理解する。  
また、社会の中での自己の役割を理解する。  
2 現代社会の構造と医療との関係について理解する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 社会 (1)個人と社会 (2)社会化 (3)社会的役割	講義	外部講師
2回	2 社会学の種類 (1)コント、スペンサーの社会有機体説 (2)社会行為論	講義	
3回	(3)コンフリクト理論 (4)シカゴ学派		
4回	3 家族 (1)家族の構造と機能	講義	
5回	(2)家族のライフサイクル		
6回	(3)日本における家族、家族意識の変化 (4)近代の家族モデルと変わり続ける家族		
7回	4 少子化を考える (1)世界の合計特殊出生率	講義	
8回	(2)アジア諸国の超少子化 (3)教育費の国際比較 (4)家族の多様化(欧米)		
9回	5 働き方を考える (1)労働と健康		
10回	(2)長時間労働と健康問題 (3)非正規雇用と健康問題		
11回	6 マジョリティとマイノリティ (1)ジェンダーとセクシャルマイノリティ	講義	
12回	(2)スティグマ		
13回	(3)多文化共生論		
14回	7 学習のまとめ	講義	
15回	修了認定試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	なし。資料を配布する。		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
人間関係論	1単位(15)	1年次 6月	外部講師	—

科目目標： 人間関係論の基礎としてのコミュニケーションについて学習し、自己を理解し自己成長に役立てる。

1. 人間関係論の基礎を理解し、自己成長する必要性を知る。
2. 人間関係を成立・発展させるための技術の基本を理解できる。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 自己認知・対人認知 (1)看護学校で人間関係を学ぶ意義 (2)自己認知:自己とは何か ①自己概念 ②自己評価 (3)対人認知:他者をどのようにとらえているか ①印象形成 ②対人魅力	講義	外部講師
2回	2 対人関係 (1)対人関係の維持/崩壊に影響を及ぼすものとは ①社会的交換 ②囚人のジレンマ (2)対人葛藤に影響を及ぼすものとは ①認知バイアス (3)社会的役割と役割葛藤 ①患者-看護師関係における援助的役割の3段階 ②役割葛藤	講義	
3回	3 態度と対人行動・集団と個人 (1)態度:行動の背景にあるものとは ①認知的不協和 ②説得的コミュニケーション (2)他者の存在が態度や行動に及ぼす影響 ①社会的促進/社会的抑制 ②社会的手抜き/社会的補償 ③傍観者効果 ④同調 ⑤集団極性化 (3)リーダーシップ	講義	
4回	4 コミュニケーション・援助的コミュニケーション (1)コミュニケーションとは ①コミュニケーションの基本構造 ②言語的・非言語的コミュニケーション ③コミュニケーションを妨げる要因 (2)援助的なコミュニケーションの技法 ①傾聴	講義	
5回	5 カウンセリング理論(1) (1)クライアント中心療法 (2)精神分析 (3)交流分析	講義	
6回	カウンセリング理論(2)・アサーション (1)行動療法 (2)認知行動療法 (3)アサーション	講義	
7回	6 ストレスマネジメント (1)ストレスとは何か ①ストレスモデル ②コーピング (2)ストレスマネジメント技法 ①リラクゼーション法 ②問題解決法	講義	
8回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h)	
使用テキスト	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
教育学	1単位(30)	3年次 4月	外部講師	—

科目目標： 教育が文化・社会の動態と人間の成長発達に影響することを理解するとともに、生涯学習の必要性を理解する。

- 1 教育の目的と意義を理解できる。
- 2 教育の構造と能力を理解できる。
- 3 効果的な教育方法を理解できる。
- 4 教育評価の目的と方法を理解できる。
- 5 現代の教育が抱える問題と課題を理解できる。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 ガイダンス／教育の概念	講義	外部講師
2回	2 子ども観と発達概念 (1) 子どもの発達 (2) 子どもの社会化と教育	講義	
3回	3 学校とはなにか①(近代学校とその特徴) (1) 学校制度の成立と発展 (2) 学校教育の目的とねらい (3) 教育制度の動向と課題	講義	
4回	4 学校とはなにか②(教育の方法・評価) (1) 集団教育と個別教育 (2) 動機づけ (3) 教育評価の目的 (4) 教育評価の種類	講義	
5回	5 教育の営みを考える①(学びの場 学校と家庭)	講義	
6回	6 教育の営みを考える②(学校と不登校)	講義	
7回	7 教育の営みを考える③(教育の担い手・教師と養護教諭) (1) 学習者の理解 (2) 教える側の条件 (3) 医療における教育	講義	
8回	8 教育の営みを考える④(院内学級)	講義	
9回	9 教育の接続①(学校間の移行)	講義	
10回	10 教育の接続②(学校から仕事への移行)	講義	
11回	11 特別ニーズ教育・インクルーシブ教育	講義	
12回	12 ジェンダー・セクシュアリティと学校教育	講義	
13回	13 生涯学習	講義	
14回	14 復習	講義	
15回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	購入が必要な講義テキストはない。授業用プリントを配布する。 参考までに、主要参考文献は下記となる。 村元編著(2015)「《系統看護学講座 基礎分野》 教育学(第7版)」医学書院		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
英会話	1単位(30)	1年次 9月	外部講師	—

科目目標: コミュニケーションとして必要な英会話を学ぶ。

1. 基本的な日常生活での英会話ができる。
2. 基本的な看護場面での英会話ができる。

授業回数	授業計画	授業方法	講師		
1回	Lesson Semester Targets /Requirements Everyone Self Introduction Question & Answer Period	講義	外部講師		
2回	Conversion Worksheets One ( Introduction) and Two ( Introducing Other People) Previewed Worksheets 3 (Spelling Name) and 4 ( Address / Telephone ) for Quiz next lesson Free Conversation				
3回 )	Vocabulary Practice Free Conversation				
6回	Skit team Selection  Skit Paper Requirements Skit Paper Writing				
7回	Past classes skit DVD Previewed/Karaoke Karaoke Song for Final Test selection Skit writing / Checking				
8回 )	Placticed worksheet Vocabulary Practice				
10回	Check skit papers /skit practice				
11回	skit practice				
12回	Logical Thinking Practice / Quiz				
13回 )	Final Test "Skit English Performance"				
15回					
成績評価	終了認定:筆記、レポート、寸劇などから総合的に評価する 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)				
使用テキスト	クリスティーンのやさしい看護英会話 医学書院				

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
英語	1単位(30)	2年次9月	外部講師	—

科目目標：看護活動に必要な基礎的な英語能力を高める。

1. 基礎的な英文法が再認識できる。
2. 医学・看護英語の解釈ができる。
3. 基本的な英文購読ができる。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	introduction となりの人に質問し、他の人に紹介する	講義	外部講師
2回			
3回			
4回	Unit 丁寧な言い回し(質問、提案)		
5回			
6回	Unit 医学用語、看護用語		
7回	主な病名、症状 人体各部の解剖学的名称、生理学的名称		
8回	Oral Test		
9回	Movie		
10回			
11回	Unit 絵本の翻訳 英字新聞の講読		
12回	Unit 身体各部位の名称		
13回	Unit 摂氏、華氏の計算		
14回	Quiz		
成績評価	修了認定試験:筆記試験 70点、Oral 10点、ワーク20点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	クリスティーンのやさしい看護英会話 医学書院		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
体育	1単位(30) 体育祭含む	1年次4月	外部講師	—

科目目標:

1. 身体活動を通して澁澁とした心身を育成する

授業回数	授業計画	授業方法	講師		
1回	体育祭に向けたトレーニング	実技	外部講師		
2～4回	体育祭参加(6時間)				
5回	ストレッチ、準備体操(ラジオ体操)				
6回	手つなぎリレー				
7回	ボールを使った運動				
8回	バレーボール等				
9回					
10回					
11回					
12回	バスケットボール等				
13回					
14回					
15回	シュートの練習とレイアップシュートのテスト ドッジボール				
成績評価	修了認定試験:実技 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)				
使用テキスト	なし				

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
哲学	1単位(30)	3年次 6月	外部講師	—

科目目標：歴史上の多様な哲学を学ぶことで、看護の現場で生じる事象について、新たな視点で理解しうるための教養と思考力を身につける。

1. 哲学的思考の特色について理解する。
2. 哲学の歴史を学ぶことで、「人間の存在を「認識・行為・希望」の側面から理解する。
3. 医療・看護の現場での経験や諸問題を哲学的観点から考える。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	哲学とは何か	講義	外部講師
2回	哲学と看護の関係—「限界状況」としての医療現場—	講義	
3回	「哲学」の問い—「人間とは何か」—	講義	
4回	認識能力の構造—「私はなにを知りうるか」—	講義	
5回	倫理の問題—「私はなにを為すべきか」—	講義	
6回	功利主義と義務論	講義	
7回	「意味」の意味—言語の哲学—	講義	
8回	労働・仕事・活動	講義	
9回	死と喪失の哲学	講義	
10回	「他者」とは何か	講義	
11回	世界疎外—超越と主観性—	講義	
12回	現象学と看護	講義	
13回	自己決定とインフォームド・コンセント	講義	
14回	「善き生」とQOL	講義	
15回	修了認定試験：筆記試験 100点 60点以上を合格とする。（修了認定等に関する規定第4条参照）	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	なし。資料を配布する。		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
看護と経済	1単位(30)	3年次 4 月	外部講師	—

科目目標： 経済が社会に与える影響を理解し、保健医療福祉との関連について学ぶ。

1. 社会における経済の仕組みを理解できる。
2. 経済を保健医療福祉制度の視点から考える。
3. 医療福祉の経営について理解できる。
4. 看護サービスと経営上の課題を知る。

授業回数	授業計画	授業方法	講師	
1回 2回	1 経済と社会 (1) 経済の特徴 (2) 経済の概念	講義	外部講師	
3回 4回 5回	2 国民医療費と医療制度 (1) 国民医療費 (2) 医療保障制度の概要	講義		
6回 7回 8回	3 医療の経済効果 (1) 産業間の依存関係 (2) 医療・福祉・介護産業の投入と産出 (3) 医療・福祉・介護産業の生産波及効果 (4) 投入構造から見た医療費増加要因	講義		
9回	4 医療サービスの生産要素	講義		
10回	5 医療提供体制	講義		
11回	6 医療サービスの消費	講義		
12回	7 地域医療連携構想と地域包括ケアシステム 8 医療サービスの料金 (1) 医療費の決定 (2) 医療費における入院料の割合 (3) 入院料に含まれる看護サービス	講義		
13回	9 看護における経営上の課題	講義		
14回	まとめ	講義		
15回	修了認定試験:筆記試験 100 点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)		
使用テキスト	指定しない(講義レジュメ配布)			